

ふよっこだより ＜研究について＞

1. 本園で行う研究活動の目的

本園では、日々子供と関わり、幼児期にふさわしい生活を展開しながら保育活動を行っていくことと並行して、創設以来、様々な研究活動を行っています。これは、保育内容や幼児指導の在り方の研究を通して、一人一人の教師が保育者としての専門性を高め、本園全体として子供の育ちを支えるよりよい保育を行っていくことを目的とするものです。また、大学の附属幼稚園の役割として、地域の幼児教育の発展に寄与することも目的としています。

2. 研究の進め方

地域や幼児の実態、保育の課題などから、研究テーマを設定して研究を行います。

設定された研究テーマに基づき、様々な方法で研究を進めます。例えば、本園の教師が保育を振り返って考えたり、記録を基に話し合ったり、時には、保護者の皆様にアンケートなどの協力をいただき、それを分析するということもあります。

さらに、大学や幼稚園等の先生方を迎えて研究発表会を開催し、参加の先生方に保育や研究を公開し、意見交換をしたり、指導助言をいただいたりします。

3. 今年度の研究テーマと研究会の日程

新たに今年度から「大学と附属校園が一体となつての共同研究」がスタートしました。変化が激しいこれからの社会を見据えて附属校園全体で子供を育てること、並びに、地域に向けてその新しい教育モデルを発信していくことをねらいとしています。その上で、幼稚園では以下のテーマを設定しました。

遊びの充実を目指す保育の再解釈と新たな実践
—「ティンカリング」の視点から—

来る12月4日には研究会を開催し、その成果を公表いたします（本年度の日程は、下表の通り）。また、新型コロナウイルス感染症防止対策の観点で、今年度の研究会は「オンラインでの実施」となっています。したがって、研究会で一般的に行われる「公開保育（園児が実際に活動に取り組んでいる様子を参加者に見てもらう）」はありませんので、園児にとってはこの日は通常通り「休園日」です。

実施日時	令和3年12月4日(土) 9:00～12:00
研究会の内容	・研究提案, 実践発表 ・講演: 「幼児期にふさわしいSteam教育を探る: 身体性に着目して」 兵庫教育大学大学院 幼年教育発達支援コース 教授 石野秀明 氏

なお、新型コロナが落ち着くであろう来年度以降については、上記「公開保育」もセットにした研究会を開催していくこととなりますので、研究会が開催される土曜日を登園日とすることをご理解ください（保護者の参観はありません）。普段の子供たちの姿を見てもらうことが、本園の教育の質の向上のためにも重要なことと考えていますので、お子様の登園へのご協力を何卒お願い申し上げます。

4. 研究に関する個人情報等の取り扱いについて

研究のための園児のVTRや写真などの画像データや協力いただいたアンケートは、研究目的以外には使用しません。また、個人情報の扱いにも十分配慮していますので、ご理解ください。